

年次継続監視評価表(令和4年度)

1 基礎情報

対象施設	道の駅「庄和」
施設の設置目的	農産物及び地域特産品の紹介、販売並びに地域情報の発信を行い、地域間の交流を促すとともに、産業の振興及び地域の活性化を図る
施設所管部署	観光振興課
指定管理者	庄和商工会
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
指定管理業務内容	(1)施設、附属設備及び備品の維持管理に関すること (2)施設の広報、宣伝及び情報提供に関すること (3)農産物及び特産品等の調査、研究及び開発並びに展示、販売及び食体験に関すること

2 施設利用状況の推移

区分	過去3年間の平均	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人数(件数)	559,170人	521,288人	511,920人	491,464人		
対前年度比	-	▲27,207人	▲9,368人	▲20,456人		

3 施設利用者の満足度(利用者アンケート結果)

区分	回答者数	満足度				
		施設・設備管理	接客対応	教室・イベント等	その他	全体
上半期	210人	98.6%	99.9%	100.0%	84.8%	99.5%
下半期	209人	98.8%	100.0%	100.0%	92.0%	99.5%
利用者の主な意見・要望等	<ul style="list-style-type: none"> 野菜が安く、とても新鮮 駐車場が広く安心して買い物ができる キャッシュレス決済ができるとよい 					

4 主な自主事業実績

自主事業名	内容	参加者数等
春日部親善大使「あえか」ライブ	春日部親善大使の「あえか」さんによるライブ	700人
わくわく体験イベント	春日部工業高校との共催イベント	600人
交通安全フェア	春日部警察署との協力のもと、利用者に交通安全呼び掛け	400人

5 主な修繕実績

修繕箇所・修繕名等	内容	金額
食彩館雨除け設備修繕工事	雹被害によって破損した食彩館出入口の雨除け設備の修繕	383,900円
本館内一部LED化工事	環境負荷低減を図るために館内照明をLED化	3,960,000円

6 収支状況

(単位:円)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
収入額 A	95,640,648	96,028,169	94,908,382			286,577,199
内、指定管理料 a	0	0	0			0
内、利用料金収入	95,167,625	93,488,789	89,138,450			277,794,864
支出額 B	90,067,909	92,592,253	93,993,020			276,653,182
内、人件費	25,876,145	27,331,573	31,235,302			84,443,020
収支額 A-B	5,572,739	3,435,916	915,362			9,924,017
対前年度比	-	▲ 2,136,823	▲ 2,520,554			-
想定事業費 C	101,691,764	102,760,680	100,257,718			304,710,162
削減額 C-a	101,691,764	102,760,680	100,257,718			304,710,162
特記事項(増減額の説明等)	想定事業費については、支出額総額から人件費分を差し引き、従事職員数(5人)に750万円を乗じて加算している。					

※「想定事業費」:市が直営で管理した場合に想定される事業費

7 四半期継続監視評価結果

区分	評価結果	特記事項(不適となった事項の有無、指導事項、改善状況 等)
第1四半期	A	新型コロナウイルスの感染防止対策を図りながら、新規事業の開拓などさらなる集客を務めること。今期実施したSDGsに関連する取り組みは可能な限り推進すること。
第2四半期	A	事業支出が計画を上回っている。電気代高騰による水光熱費の負担増に関しては節電等の対策と併せて、必要に応じて運営の見直しも視野に入れた検討をすること。
第3四半期	A	食彩館の新テナントの早期購入に努め来館者増加に努めること。施設の破損については、速やかに修繕するか、張り紙による注意喚起等の応急措置を施すこと。
第4四半期	A	施設来館者数が計画を下回っている。他の市内観光施設から来館客を取り込む仕組みづくりに取り組むこと。

※評価結果の凡例

A：適切な指定管理業務が実施されている。

B：適切な指定管理業務が実施されておらず、さらなる努力を要する。

C：全体的に適切な指定管理業務が実施されておらず、取組を見直す。

8 年間を通じた個別事項の評価

No.	評価項目	主な内容	適
1	住民の平等な利用が確保されているか。	事業等の内容に偏りがいないか。	○
		施設の利用が一部の利用者に偏った計画・実施となっていないか。	○
2	施設の効用を最大限に発揮させているか。	サービス向上のための適切な方策が実施されているか。	○
		受付等業務従事者の接客態度・対応は適切か。	○
		パンフレットの整備等、積極的な利用案内が行われているか。	○
		自主事業は適正・効果的な実施となっているか。	○
3	施設の適切な管理運営が計画的に実施されているか。	事業計画書で提案された内容が適切に実施されているか。	○
		書類等文書の作成・管理・保存は適正に行われているか。	×
		施設の安全・衛生管理、危機管理、災害時等緊急時の対応は適切か。	○
		適切な計画の下、効果的な修繕・保守点検が実施されているか。	○
4	管理に係る経費の縮減が図られているか。	事業収支は事業計画書による計画と乖離していないか。	○
		指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われているか。	○
		サービス水準を確保した効果的な経費縮減に取り組んでいるか。	○
		会計処理業務が適切に行われているか。	○
5	安定的な運営体制が確保されているか。	職員体制は十分か。	○
		職員の育成指導、研修体制は十分か。	○
		適正な雇用・労働条件が確保されているか。	○
6	その他	個人情報に関する情報の管理体制は十分か。	○
		地域経済の活性化に繋がる市内事業者との連携が図られているか。	○
		市との適正な信頼関係や協定書等に基づく協力関係が築けているか。	○
適(○)の数		19 / 20	

9 総合評価

住民サービスの向上や経費の節減について 子ども食堂への農産物無償提供等フードロスに関連した取組を実施している。 粗大ごみの処理券の販売といった、住民のニーズに対応したサービスを提供している。 SNSや無料広告を効果的に活用し、広告宣伝費等の節減に努めている。
指導に対する対応・改善状況について 食彩館のテナント撤退による収支減少への対応として、速やかに新テナントの導入に努めた。 上半期・下半期に利用者アンケートを実施し、来館者の回遊傾向の把握を行った。
その他(上記以外の制度導入による効果、業務状況、課題、今後の方向性等) 経年劣化による要修繕箇所の増加が見込まれるため、市と指定管理者で連携を図りながら計画的に修繕を行っていく必要がある。近隣市にて新規開設が控えているので、施設や運営等で競争力向上の必要がある。市内の観光施設から観光客を呼び込む方策を検討する等、安定的な集客が見込める事業展開が必要である。

令和4年度の評価結果

A